



大きい個体。



小さい個体。

区別のポイント

多湿の林床に生育するヘゴに次ぐ大型シダ。葉は数枚叢生し、高さ 3m に達する。2回羽状複葉で小羽片は披針形で鋭頭。根茎の株は大きなものでは直径 30 cm になる。

形態 常緑性の大型のシダ植物。

分布 本州（伊豆半島以西）・四国南部・九州南部・沖縄

名前の由来 株に古い托葉が残り、それを龍の鱗に喩えた。

葉 **〈全体〉**葉身は広楕円形で2回羽状複葉。小さい葉では単羽状。

〈葉柄〉長さは葉身とほぼ同じ。直径数cmで多肉質。表面は平滑で緑色、短い白色の線形模様がある。

〈羽片〉披針形で5～10対。長さは30～70 cm、幅10～20 cm。短い柄がある。小羽片は15～25対あり、長さ5～15 cm、幅1～2 cm、披針形で鋭尖頭、浅い鋸歯と短い柄がある。

備考

出典 3, 5